



**大丈夫？下流水位
日下川新規放水路及
宇治川排水機場増設**

できる。また、日下川新規放水路及び宇治川排水機場の運用で、仁淀川の堤防決壊の危険性があるような大きな洪水時は排水を停止し、下流への影響を防ぐ予定。用石等での対策事業の早期実現及び排水施設の適切な運用が必要。国に対する要望していく。

問 下流側土佐市への水位上昇による影響が懸念されるため、国土交通省は、下流の用石箇所などの河道掘削を行いながら、両事業は着々と進捗している。工事の完了時期等、下流側の水位上昇による影響について問う。

答 板原市長

宇治川排水機場ポンプ増設は令和元年内完成予定。日下川新規放水路は、令和3年3月。土佐市用石箇所などの樹木伐採・河道掘削を実施することで洪水の水位上昇を吸収



現在の日下川樋門

が水位上昇は約7センチメートルと記されている。両事業の早期実現と排水施設の適正な運用を願う。下流域の安全は下流域の願いであり進捗を注視していく。

**仁淀川堤防内部の
地質調査について**

答 板原市長
国土交通省によると平成18年までに仁淀川全域概ね1kmごとに地質ボーリング調査を行っている。堤防の漏水対策が必要な高岡箇所は、平成30年工事完了。用石箇所は現在工事中。今後も堤防巡視・点検に加え、洪水時の巡視の強化を行う。

問 本年度国土交通省水管理・国土保全局予算概要では、平成30年7月豪雨時の災害を受けて、実施したインフラの緊急点検を踏まえた防災・減災・国土強靱化対策を推進。気候変動適応策が盛り込まれた。仁淀川堤防の歴史をよ

く知る市民の方は、堤防の安全性について不安を抱いている。

昨年の豪雨災害堤防決壊などから、仁淀川の堤防内部の地質調査を求める。

**行政財産目的外使用
分かりやすい説明を**

の行政財産の目的外使用について行政報告あるも、積算根拠が明確でないの理解し難い。市民に分かりやすい説明を求める。

答 中平生涯学習課長
商工会の複合文化施設使用条件は、現在事務所として使用している土地の市への無償譲渡、積立金から市へ600万円の寄付により使用料は徴さず光熱水費、保守維持管理費実費負担などで協議中。

問 昨年議会質問にあたり仁淀川の河川国道事務所を訪ねた際、工事箇所についてはボーリング調査しているが、全体の調査はしていないという説明であり、今回の答弁内容とは齟齬があり、調査していれば調査データを求める。

答 市長答弁
再度の調査をする。

問 今議会複合文化施設

*その他の質問 「給食センター跡地の利用について、主として高岡第一小学校が利用できる駐車場に」

問 平成29年に続き質問工事設計で流量計算されていると考えるが、下流水位の数値は示されない。過去の協議会勉強資料(国土交通省提供)に条件はある